

日本精化株式会社

2024年3月期（2023年度）第2四半期

機関投資家・アナリスト向け決算説明会 質疑応答（要旨）

日時：2023年11月13日（月） 13:00 - 14:00

開催方法：Web会議

当社出席者：代表取締役執行役員社長 矢野浩史

上席執行役員管理本部長 新村明寛

資料：2024年3月期（2023年度）第2四半期決算説明資料

（2023年11月13日開示）

※この資料は、Web会議での質疑応答の要旨をまとめたものです。

質疑応答（要旨）

【ビューティケア分野】

質問：ビューティケア分野が好調であるとのことだがどのような製品か。またサステナブル製品とはどのような製品か教えていただきたい。

回答：化粧品用機能性油剤が好調に推移している。具体的には様々な用途に活用されている。サステナブル製品とは、RSPOやNon-GMO対応原料であり、欧州の顧客からの要請からスタートしたが米国からの需要も増えてきた。

質問：化粧品用リン脂質の好調の要因を教えていただきたい。

回答：中国向けに一時期増えた時期があったが、第2四半期には落ち着いてきている。一方で国内では大手顧客に採用されているのが順調であることに加えて、大手以外でも広がりを見せている。

質問：ビューティケア分野は通期でも堅調との見通しだが、何が好調だとみているのか教えていただきたい。

回答：化粧品用リン脂質素材、化粧品用機能性油剤、生理活性物質、何れも好調に推移すると予測している。

【ヘルスケア分野】

質問：上期から下期にかけて売上高が大きく増える見通しとなっているが、その要因を教えていただきたい。

回答：ギリアド・サイエンシズ社（以下、「ギリアド」という。）向けが下期から商業生産を開始することに加えて、米国や中国の既存顧客からの販売が一部上期から下期に後ろ倒しとなった影響が大きい。

質問：来年度以降の業績はこの下期をベースとして見るべきなのか教えていただきたい。

回答：ギリアド向けは、この下期をベースと見ていただきたい。医薬品用リン脂質は緩やか

に拡大していくと見ているが、ヘルスケア分野には、減少方向でも止む無しとしている医薬品中間体ビジネスも含まれていることも申し添えておく。

質問：ギリアドとの新規プラントの稼働と実績について教えていただきたい。

回答：旧プラントは第1四半期まで稼働しており売上実績もあるが、第2四半期からBCPの観点からバックアップの位置付けとなっている。代わりに新プラントでのテスト生産を開始しており、下期から商業生産に移行していく。

質問：医薬品用リン脂質プラントは減価償却が始まっているが稼働状況を教えていただきたい。

回答：医薬品用リン脂質は、ギリアドとの新プラントとは異なり、米国、中国などさまざまな顧客があり、テスト生産している製品もあればそうでないものもあるが、順次取組んでいる。稼働状況については、この上期から生産開始していて、新旧のプラントを同時に稼働させているのが現状である。

質問：ギリアドはアムビゾーム®以外にもがん治療薬を保有しているが、その分野でのリポソームテーマはあるのか教えていただきたい。

回答：現時点ではアムビゾーム®のビジネスのみであるが、アムビゾーム®は当社製リポソーム以外にギリアドでもリポソームを製造しており、(リポソーム化していない)リン脂質素材としても販売している。

【ファインケミカル分野】

質問：選択と集中を進めているのは大変素晴らしいが、利益率が低下している理由を教えてください。

回答：受託品から自社開発品へシフトしており、研究開発費など販管費の増加が先行しているため、足元の利益率が低下しているをご理解いただきたい。

【ハイジーン分野】

質問：グループ会社としてシナジーが見えないように感じる。選択と集中の対象として考えているのか教えていただきたい。

回答：ハイジーン分野は新型コロナで手指消毒剤への参入プレイヤーが増え、その結果、過剰在庫に繋がっているが、現時点では撤退したプレイヤーが多く、競争環境は緩和しているとみている。また、新型コロナによってアルボナスブランドの認知度が上がった。ご指摘の通り、今後はシナジーを生み出すことが課題であるが、ビューティケア分野で販売している化粧品用原料がアルボナスの主力分野であるハンドソープにも一部配合されている。シナジーが期待できるので今後も広げていきたい。

【資本政策】

質問：上期に投資有価証券の売却があったが、政策保有株式比率 17%以下の目標に対して

は、まだ遠いと思う。今後売却の動きが加速していくのかを教えていただきたい。

回答：2026年度までに、政策保有株式比率17%以下にすることを目標に掲げており意識して取組んでいる。相手先のお考えもあるため、当社の考えだけでは進められないものの、順次目標に向けて対応していきたい。